



アルファフォーム210R

[水成膜泡消火薬剤・耐寒用2%型]

Alpha Foam 210R

泡原液濃度2%で、
泡原液濃度3%と同等の性能を発揮!



- 備蓄場所が少なく済み、省スペース化を実現。
- 2%ですから、同量保有では1.5倍の放射が可能。
- 備蓄タンクから火災現場への原液搬送スピードがアップ。
- 原液の輸送量、処理量が低減され、環境に優しい。
- 3%機器もそのまま使用可能(オフィスの変更が必要)

泡消火設備の点検時には泡消火設備放射点検用の試験液「エコブルー」が最適!

泡薬剤を放出することなく、泡消火薬剤の混合比率を測定できます。
環境に優しく経済的な「アルファフォーム210R」と「エコブルー」をセットでご活用ください。



アルファフォーム210R

[水成膜泡消火薬剤・耐寒用2%型]

[石油類火災用]

特例検定合格品

[(泡第23~5号)]

下記フォームヘッドとアルファフォーム210Rは性能評定適合品です。

YAH-35T (認定番号221T158)

YAH-20 (認定番号221T140)



[アルファフォーム210R]は、国際的に規制が進んでいる、有機フッ素化合物(PFOS類)[※]を含有していません。PFOS(ヘルフルオロオクタンスルホン酸)含有製品の製造・使用は2009年10月30日公布の化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)施行令により、2010年4月から規制されます。当社の水成膜泡消火薬剤は、PFOS規制に対応した泡消火薬剤です。

(※)PFOSとは【ヘルフルオロオクタンスルホン酸及びその塩】を、PFOS類似化合物とは【ヘルフルオロオクタンスルホン酸(C₈F₁₇SO₂-)を分子中に有する全ての化学物質】をいっています。

ヤマトプロテック株式会社

Alpha Foam 210R Specifications

アルファフォーム 210R

[水成膜泡消火薬剤・耐寒用2%型 特例検定合格品] ○石油類火災用

この消火薬剤は消防法第21条の2第2項の規定(昭和23年法律第186号)に基づく、昭和50年12月9日発令の自治省令第26号「泡消火薬剤の技術上の規格を定める省令」(国家検定)に適合した、水成膜泡消火薬剤(アルファフォーム)「型式番号泡第23~5号」です。本文はこの仕様に関するもので石油類火災用として使用するものです。

■成分

1. [アルファフォーム]は、フッ素系界面活性剤を主成分とする泡消火薬剤です。
2. 泡安定剤・凝固点降下剤などを添加しています。
3. PFOS(ペルフルオロオクタン-1-スルホン酸またはその塩)は含有していません。

■使用方法

1. 淡水・海水または硬水98容量%に本薬剤2容量%を溶解して使用します。
2. 石油類火災の消火に使用します。
3. 固定式(フォームチャンバー、泡ヘッド、泡ノズル等)消火方法に加え、石油類による汚染が少ないのでタンク底部からの泡注入消火法(SS1方式)にも使用できます。また、粉末消火薬剤との併用も可能です。

■性状

1. コハク色の均質な液体です。
2. 化学的に安定ですので、貯蔵中の薬剤の変化はほとんどありません。
3. 一度消火すると油面上に薄い水成膜を形成し、燃料蒸気を抑制して長時間再着火を防止します。
4. 湿潤性に優れているため、木材・紙・ゴムなどの一般火災にも消火力を発揮します。
5. 泡消火薬剤の原液及び生成した泡は、毒性または損傷性がほとんどありません。
6. 鋼・黄銅・アルミニウムに対し著しい腐食性はありません。温度38°Cの泡消火薬剤の中に、金属試験片を21日間放置した場合の質量損失は次の通りです。

| 金属の種類 | 規格 | 実測値 |
|----------------|------------------------------|------------------------------|
| 鋼(SPCC) | | 0.3mg/20cm ² /day |
| 黄銅(C2801P) | 3mg/20cm ² /day以下 | 0.0mg/20cm ² /day |
| アルミニウム(A5052P) | | 0.1mg/20cm ² /day |

7. [アルファフォーム]は、温度65°Cに216時間保った後に室温に戻し、さらに温度-18°Cに24時間保った後に室温に戻す強制変質試験を行っても、試験前の製品とほぼ同等の性能を有します。

■使用温度範囲

[-10°C~+30°C]の温度範囲で使用できます。もし使用温度範囲及び流動点以下に温度が下がり泡消火薬剤が凍結しても、液温が使用温度範囲内に戻れば有効に使用できます。

■物理的性状

| 試験項目 | 国検規格 | 実測値 | |
|----------|-----------|--------------|------|
| 比重(20°C) | 1.00~1.15 | 1.024 | |
| 粘度 | 200cSt以下 | 4.8cSt(20°C) | |
| 流動点 | -12.5°C以下 | -17.5°C | |
| pH(20°C) | 6.0~8.5 | 7.8 | |
| 係拡散 | 淡水 | 3.5以上 | 5.0 |
| | 合成海水 | | 5.0 |
| 沈澱量 | 原液 | 0.1vol%以下 | 痕跡以下 |
| | 淡水・海水希釈液 | 0.05vol%以下 | 痕跡以下 |
| 引火点 | 60°C以上 | なし | |

■性能

| | 試験基準 | 国家検定規格 | | 規格値 |
|-------|-------------------|------------------------|-----------------------|------|
| | | 淡水 | 合成海水 | |
| 試験条件 | 使用水 | 淡水 | 合成海水 | — |
| | 燃料種類 | n-ヘプタン | | — |
| | 燃料量 | 200L | | — |
| | 発泡ノズル | 国検水成膜泡用標準発泡ノズル | | — |
| | 放射量 | 10L/min | | — |
| 発泡性能 | 燃焼火皿 | B-20(4m ²) | | — |
| | 発泡倍率 | 5.8倍 | 5.5倍 | 5倍以上 |
| | 25%還元時間 | 4分15秒 | 3分45秒 | 1分以上 |
| 消火性能 | 水成膜試験 | 良 | 良 | 良 |
| | 消火時間 | 1分48秒 | 1分57秒 | 5分以内 |
| | 密封性試験 | 良 | 良 | 良 |
| 耐火性試験 | 25cm ² | 25cm ² | 900cm ² 以下 | |

■容器

標準容器として次の2種類があります。

200L容器：JIS Z1601に適合する鋼製液体用ドラム缶

20L容器：JIS Z1706に適合するポリエチレン偏平缶

■取扱上の注意

●使用上の注意

1. 「石油類火災用」に使用してください。
2. 使用時に他の薬剤と混用しないでください。
3. 使用時には淡水・海水または硬水で2%希釈してご使用ください。

●貯蔵上の注意

1. 貯蔵時にプレミックス(淡水・海水・硬水と混合)しないでください。
2. 使用温度範囲を保って貯蔵してください。
3. 貯蔵中に、みだりに開缶しないでください。

[注意] 本仕様書掲載の数値は、代表的な製品による測定値であり、保証値・規格値ではありません。

※このカタログは、再生紙を使用しています。

●あらゆる防災設備・機器のご用命は下記へ……………

ヤマトプロテック株式会社

本社 東京都港区白金台5-17-2 ホームページ <http://www.yamatoprotec.co.jp>

大阪・名古屋・札幌・仙台・さいたま・横浜・静岡・広島・四国・福岡／大阪工場・東京工場・中央研究所

05-105-1112.S